

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	91	学校名	仙台市立根白石小学校	校長名	内田 和未
------	----	-----	------------	-----	-------

1 取組のタイトル、テーマ

「冠川 ふるさとを知り、これからにつなぐ自然」



2 取組の紹介

根白石小学校の周りには、泉ヶ岳を源流とする冠川（七北田川）と数多くの支流、用水路が縦横無尽に走り、動植物や水田に豊かな実りをもたらしています。自然の豊かさを感じることでできる地域性を生かして、自然と地域に親しむ取り組みを行いました。

①冠川たんけん・福岡大堰（ふくおかおおぜき）

4年生の総合的な学習の時間では、「ふるさとの川」を探検する活動から、冠川流域の環境を知り、環境保全について学びました。川の水や石、泥や苔、魚や水生昆虫などに直接触れてきました。現地でゲストティーチャーを迎え、今と昔の生物や町の様子の変り変わりについて、お話を伺いました。川を汚す原因を知り、川をきれいにするために自分たちができることを探し、新聞にまとめました。

また、江戸時代に作られた「福岡大堰」では、実際にくぐり穴や大堰の30m位の間隔で作られた『狭間（ざま）』を教えてもらいました。狭間から落ち葉を流し、実際につながっていることを確認しました。



②全校清掃活動

たてわりグループに分かれて分担された場所のごみを拾って地域の清掃活動を行い、地域を大切に思う気持ちを高めることをねらいに取り組みました。ごみは多くありませんでしたが、子供たちは、ごみ以外の雑草や道路際の汚れも何とかしようと頑張っていました。学校近隣にある商店の周りのごみ拾いや市民センターの街路樹の落ち葉拾いも行いました。地域をみんなの手できれいにしようとする気持ちが高まりました。



3 取組の成果（児童の変容）

日頃から親しんでいる学区内で、改めて活動することによって、地域の歴史を新しく知ったり、これまで以上に親しみを持ったりするきっかけとなりました。子供たちの心の中に芽生えた「この自然を守りたい」という思いを、今後の活動にもつなげていけるように機会を作っていきたいと思います。